

---

# 娘

神村律子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
娘

【コード】  
N5084I

【作者名】  
神村律子

【あらすじ】  
娘に会いたい。でもそれは……。

私はしがないサラリーマン。

私には二十年以上前に生き別れになった娘がいる。

もう社会人として働いていると噂で聞いた。

会いたい。

その気持ちが大きくなったのは、再婚した連れ合いがガンで世界したのがきっかけだった。

娘の母親、つまり私の前の妻は、再婚もせずに女手一つで娘を育ててくれた。

私と離婚した理由は私の度重なる浮気。

だから今更どの面下げて会えるというのか、とも思う。

しかし、会いたい気持ちは日増しに膨らみ、抑え切れなくなった。

せめて一目だけでもと思い、娘が勤めている会社に行った。

知り合いからもらってあった娘の写真を頼りに探した。

会社のすぐ近くまで行ってみた。

受付にいるらしい。玄関を入ればそこにいる。

しかし、足がすくむ。

それ以上進めない。遠くからガラス越しに娘の姿を見て、それで何とか納得し、家に帰った。

そんな日が続いた。

雨の日も、風の日も、私は娘を一目見るためにそこを訪れた。

ああ、今日も元気そうだ。良かった。

それだけで一日を乗り切れた。

それだけで気力が湧いた。

幸せだった。もう、それ以上望むことはない。

娘と話が出来なくてもいい。

私の只一つの願いは、娘の幸せ。それだけだ。

会いたいなどと言うのは私のエゴだ。

娘の気持ちを全く考えていない独り善がりな考えだ。

気持ちの整理がついた気がした。

もう会いに来なくても大丈夫だ。

そう思うと、ずっつと楽になった。

そろそろ私は妻のところに行かなければならない。

妻が寂しがっているだろうから。

ちよつたら。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5084i/>

---

娘

2011年1月27日09時43分発行